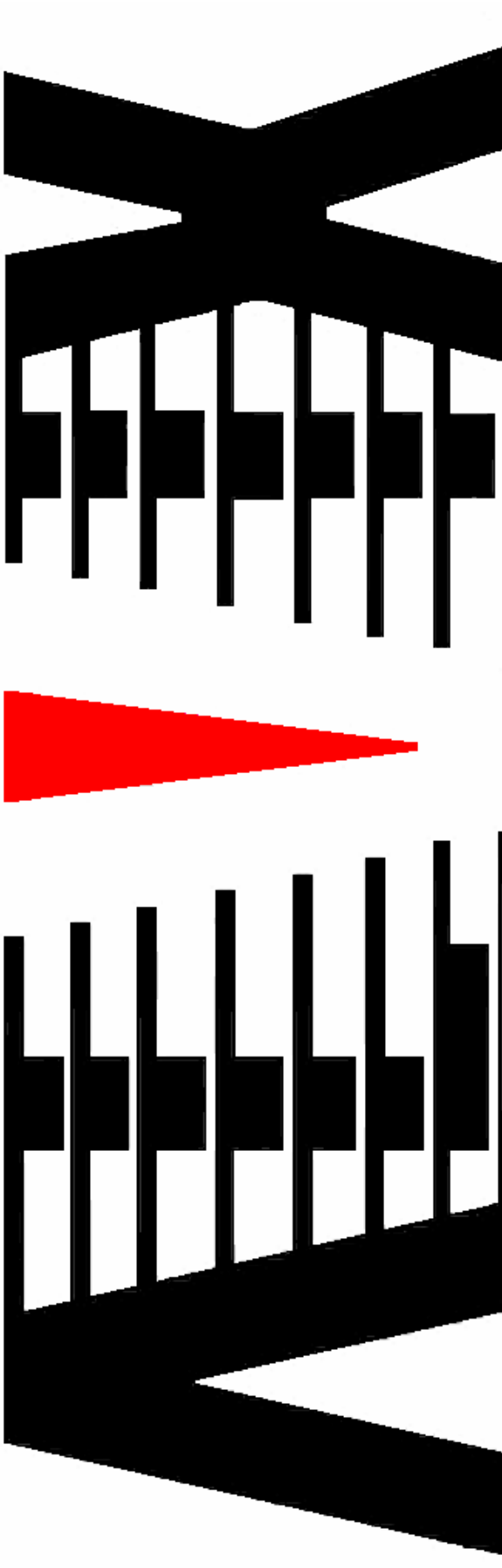
# “アルビクス”ビデオローテータ
# R-90CK

取扱説明書

Ver. 2.0



**御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為の指示に従って下さい。**
**もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。**

# 目　次


注意事項　・・・・・　２
１．主な機能と特長　・・・・・　３
２．仕様　・・・・・　４
３．各部の名称と機能　・・・・・　５
４．接続方法　・・・・・　８
５．ＭＯＤＥ設定と表示例　・・・・・　１０
　１．４：３（Ａ）　・・・・・　１１
　２．４：３（Ｂ）　・・・・・　１３
　３．ＦＵＬＬ　・・・・・　１５
　４．ＺＯＯＭ　・・・・・　１６
　５．ＬＥＦＴオーバーレイ　・・・・・　１７
　６．ＲＩＧＨＴオーバーレイ　・・・・・　１８
　　※ＢＡＳＥにオーバーレイした表示例　・・・・・　１９
　７．３：４レターボックス　・・・・・　２０
　８．４：５レターボックス　・・・・・　２１
６．設定方法
　１．ＢＡＳＥ　ＲＧＢを使用しない場合　・・・・・　２２
　２．ＢＡＳＥ　ＲＧＢに変換画像をオーバーレイする場合　・・・・・　２３
　３．3面の縦置きＰＤＰを使用したマルチビジョンを構築する場合　・・・・・　２４
７．ＳｙｎｃＬｏｓｓ、ビデオＯＦＦ動作　・・・・・　２５
８．外部制御　・・・・・　２６

# 御使用上の注意事項

## 必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

### 警告

◇　内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）

◇　煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

### 注意

◇　電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

### お願い

◇　風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）

◇　次の様な所には置かないで下さい。
湿気の多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所
安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

# １．主な機能と特長

## １．１　Ｒ－９０ＣＫの機能

”アルビクス”ビデオローテータ・Ｒ－９０ＣＫは、ビデオ映像をリアルタイムに９０°（２７０°）回転し、アナログＲＧＢ（ＸＧＡ）で出力することが可能です。

## １．２　Ｒ－９０の特長

◇縦置きにした表示部にビデオ信号（ＮＴＳＣ or ＰＡＬ）を表示する装置です。
◇入力したビデオ信号を倍速処理した後、９０°あるいは２７０°回転し、ＸＧＡのタイミングで高画質に出力します。
◇４：３の入力映像の一部を、９：１６画面の縦置きＰＤＰ画面に最適な大きさに切り出します。
◇３面または２面の縦置きＰＤＰを使用したマルチビジョンを構築することも可能です。
（この場合、ＰＤＰ１面あたり１台のＲ－９０ＣＫが必要です。）
◇フロントパネル内部のスイッチで基本的な操作が可能です。
◇シンプルでどなたでも簡単に操作できます。
◇スイッチ設定項目
コントラスト
ブライトネス
ＨＵＥ
クロマ
表示モード設定
切り出し位置設定
入力（Ｙ／ＣorＶＢＳ）切り替え
◇外部制御
入力（Ｙ／ＣorＶＢＳ）切り替え
ビデオ映像のＯＮ／ＯＦＦ
ベース画像のＯＮ／ＯＦＦ（BASE RGB 入力時）

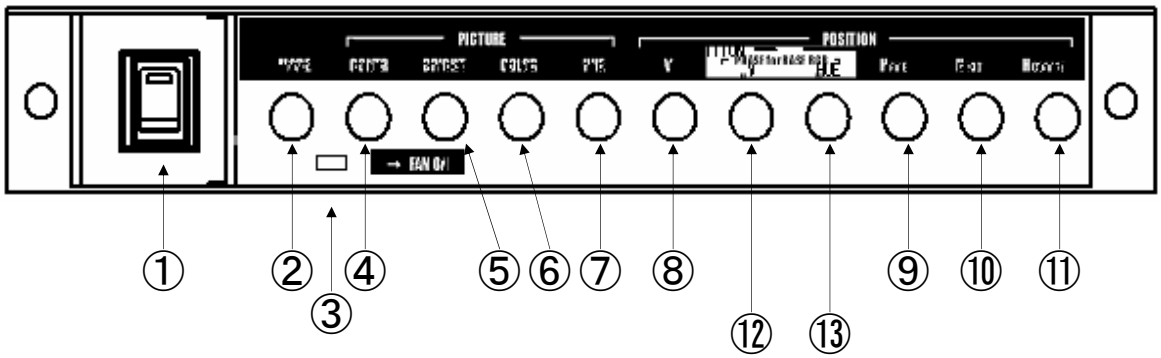
# ２．仕様

| | | |
|---|---|---|
| 映像入力信号 | | |
| 回転信号 | ビデオ信号（ＮＴＳＣ） | |
| | 信号形式 | ＶＢＳ　／　Ｙ/Ｃ |
| | コネクタ | ＢＮＣ　／　Ｓ端子 |
| | 信号数 | １系統 |
| | 信号レベル | ０．７Ｖｐ－ｐ　７５Ω |
| ベース信号 | アナログＲＧＢ信号 | |
| | 信号形式 | Ｒ，Ｇ，Ｂ，ＨＤ，ＶＤ |
| | 信号解像度 | ＶＧＡ，ＳＶＧＡ，ＸＧＡ |
| | コネクタ | 高密度Ｄ－ｓｕｂ１５ピン（インチピッチ） |
| | 信号数 | １系統 |
| 映像出力信号 | | |
| | 信号形式 | Ｒ，Ｇ，Ｂ，ＨＤ，ＶＤ |
| | 信号解像度 | 入力ベース信号に依存 |
| | 信号数 | １系統 |
| | コネクタ | 高密度Ｄ－ｓｕｂ１５ピン（インチピッチ） |
| 外部制御 | | |
| | コネクタ（ＲＥＭＯＴＥ） | Ｄ－ｓｕｂ９ピン（インチピッチ） |
| 外形寸法 | Ｗ３００　×　Ｈ４４　×　Ｄ２２６　ｍｍ | |
| 重　　量 | 約　３　ｋｇ | |
| 消費電力 | 約　１５　Ｗ | |

# 3．各部の名称と機能

＜フロントパネルの機能＞

フロントパネルを開けると、スイッチが現れます。【カッコ内はデフォルト値】




① POWER

電源スイッチです。

② MODE【0】

出力パターンを選択するスイッチです。

③ →FAN ON【ON】

冷却ＦＡＮを停止することができます。
ＦＡＮの音が耳障りな場合は、”ＯＦＦ”にして下さい。
ただし、周囲温度が３０度を越えるような環境で使用する場合は必ず”ON”にしてご使用下さい。

④ ＰＩＣＴＵＲＥ　ＣＯＮＴＲ【8】

ビデオ映像のコントラストを設定するスイッチです。

⑤ ＰＩＣＴＵＲＥ　ＢＲＩＧＨＴ【8】

ビデオ映像の明るさを設定するスイッチです。

⑥ ＰＩＣＴＵＲＥ　ＣＯＬＯＲ【8】

ビデオ映像の色の濃淡を設定するスイッチです。

⑦ ＰＩＣＴＵＲＥ　ＨＵＥ【8】

ビデオ映像の色合い設定をするスイッチです。

⑧ ＰＯＳＩＴＩＯＮ　Ｖ【8】

垂直方向の画面切り出し位置を設定するスイッチです。
ＭＯＤＥ”Ｃ～Ｆ”の場合は、表示位置が変わります。

⑨ ＰＯＳＩＴＩＯＮ　Ｈ　ＦＩＮＥ【8】

水平方向の画面切り出し位置を設定するスイッチです。
切り出し位置の微調整が可能です。

⑩ ＰＯＳＩＴＩＯＮ　Ｈ　ＭＩＤ【8】

水平方向の画面切り出し位置を設定するスイッチです。

⑪ ＰＯＳＩＴＩＯＮ　Ｈ　ＣＯＡＲＳＥ【8】

水平方向の画面切り出し位置を設定するスイッチです。
切り出し位置の粗調整が可能です。

※　３つのＰＯＳＩＴＩＯＮ　Ｈスイッチの設定が、”８”８”８”のとき、
入力映像の中央部が切り出されます。各スイッチの設定値を小さくすると、
入力映像の右側が、設定値を大きくすると左側が見えてきます。
ＣＯＡＲＳＥ、ＭＩＤ、ＦＩＮＥの順に設定してください。

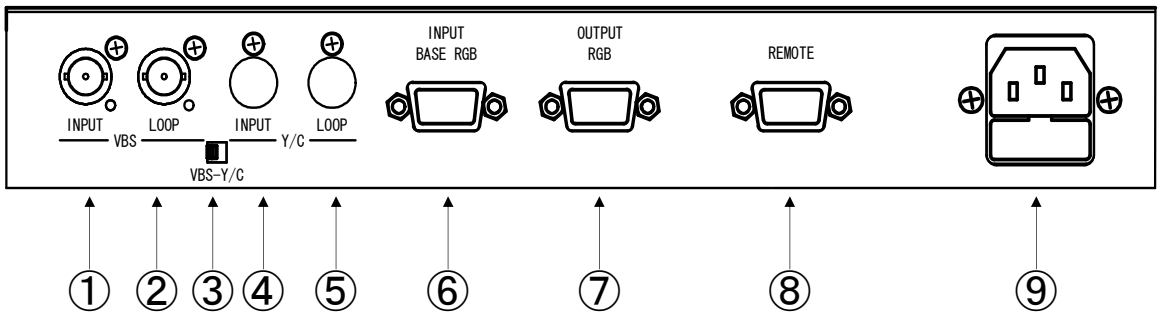
⑫ ＰＨＡＳＥ　ｆｏｒ　ＢＡＳＥ　ＲＧＢ　Ｖ【8】

ＭＯＤＥ設定値を”８～Ｆ”に設定し、ＢＡＳＥ　ＲＧＢに入力したＸＧＡ
画像にＲ－９０ＣＫの変換画像をオーバーレイする時にのみ使用します。
ＢＡＳＥ　ＲＧＢの画像と、ビデオ画像の合成位相の調整が可能です。
縦長に使用したＰＤＰにおいて、垂直方向の位相が変わります。

⑬ ＰＨＡＳＥ　ｆｏｒ　ＢＡＳＥ　ＲＧＢ　Ｈ【8】

ＭＯＤＥ設定値を”８～Ｆ”に設定し、ＢＡＳＥ　ＲＧＢに入力したＸＧＡ
画像にＲ－９０ＣＫの変換画像をオーバーレイする時にのみ使用します。
ＢＡＳＥ　ＲＧＢの画像と、ビデオ画像の合成位相の調整が可能です。
縦長に使用したＰＤＰにおいて、水平方向の位相が変わります。

＜リアパネルの機能＞




① ＩＮＰＵＴ　ＶＢＳ

コンポジットビデオ映像の入力コネクタです。

② ＬＯＯＰ　ＶＢＳ

コンポジットビデオ映像のループスルーコネクタです。

③ ＶＢＳ－Ｙ／Ｃ

ＶＢＳとＹ／Ｃの入力切替スイッチです。

④ ＩＮＰＵＴ　Ｙ／Ｃ

Ｙ／Ｃビデオ映像の入力コネクタです。

⑤ ＬＯＯＰ　Ｙ／Ｃ

Ｙ／Ｃビデオ映像のループスルーコネクタです。

⑥ ＩＮＰＵＴ　ＢＡＳＥ　ＲＧＢ（ベース信号）

ベースとなるＲＧＢ信号の入力コネクタです。

ＭＯＤＥ設定値が”０～７”の場合は、外部同期信号入力となり、

ＲＧＢは合成されません。

（高密度Ｄ－ｓｕｂ１５ピン、留めネジはインチピッチ）

| | | |
|---|---|---|
| １ | ＲＥＤ | ０．７Ｖｐ-ｐ　７５Ω |
| ２ | ＧＲＥＥＮ | ０．７Ｖｐ-ｐ　７５Ω |
| ３ | ＢＬＵＥ | ０．７Ｖｐ-ｐ　７５Ω |
| ４ | ―― | |
| ５ | ＧＮＤ | |
| ６ | ＧＮＤ（ＲＥＤ） | |
| ７ | ＧＮＤ（ＧＲＥＥＮ） | |
| ８ | ＧＮＤ（ＢＬＵＥ） | |
| ９ | ―― | |
| １０ | ＧＮＤ | |
| １１ | ―― | |
| １２ | ―― | |
| １３ | Ｈｓｙｎｃ | ＴＴＬレベル |
| １４ | Ｖｓｙｎｃ | ＴＴＬレベル |
| １５ | ―― | |

⑦ ＯＵＴＰＵＴ　ＲＧＢ（ベース信号）

出力信号のコネクタです。

（※ピンアサインは“ＩＮＰＵＴ　ＢＡＳＥ　ＲＧＢ”と同じ）

⑧ ＲＥＭＯＴＥ

外部制御用コネクタです。

（※コネクタのピンアサインは６．外部制御の項目を参照ください）

⑨ 電源コネクタ（３Ｐインレット）

# ４．接続方法

１）ビデオ信号の接続

・【ＩＮＰＵＴ　Ｙ／Ｃ】：　ビデオ機器のＳ－ＶＩＤＥＯ出力端子に接続します。
・【ＩＮＰＵＴ　ＶＢＳ】：　ビデオ機器のコンポジットビデオ出力端子に接続します。

２）ベース信号の接続

パソコン等のＲＧＢ信号出力端子に接続します。
※ベース画面との合成や、外部同期動作をしない場合は、接続の必要はありません。

３）出力信号の接続

ＰＤＰ等表示器のＲＧＢ信号入力端子に接続します。

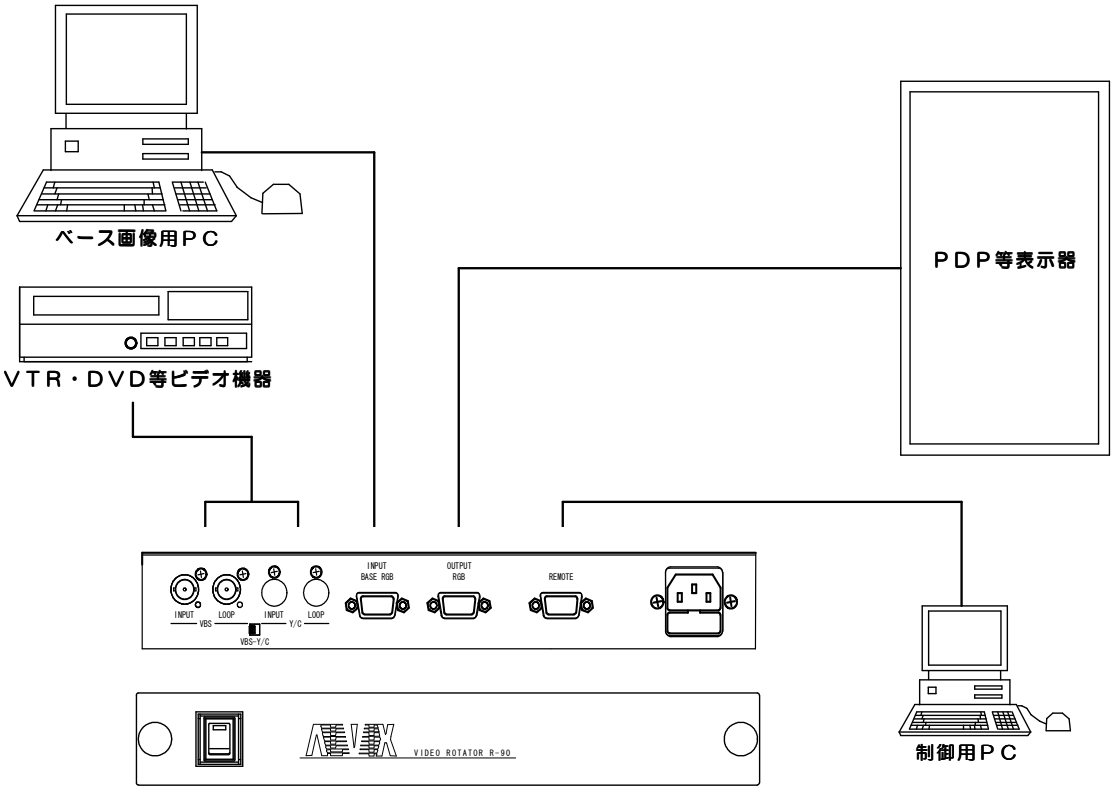
４）外部制御接続

・ＲＳ－２３２Ｃ：D－sub９ピンケーブルで制御機器と接続します。
（制御機器がＷｉｎｄｏｗｓパソコンの場合は、D－sub９ピンストレートケーブル）

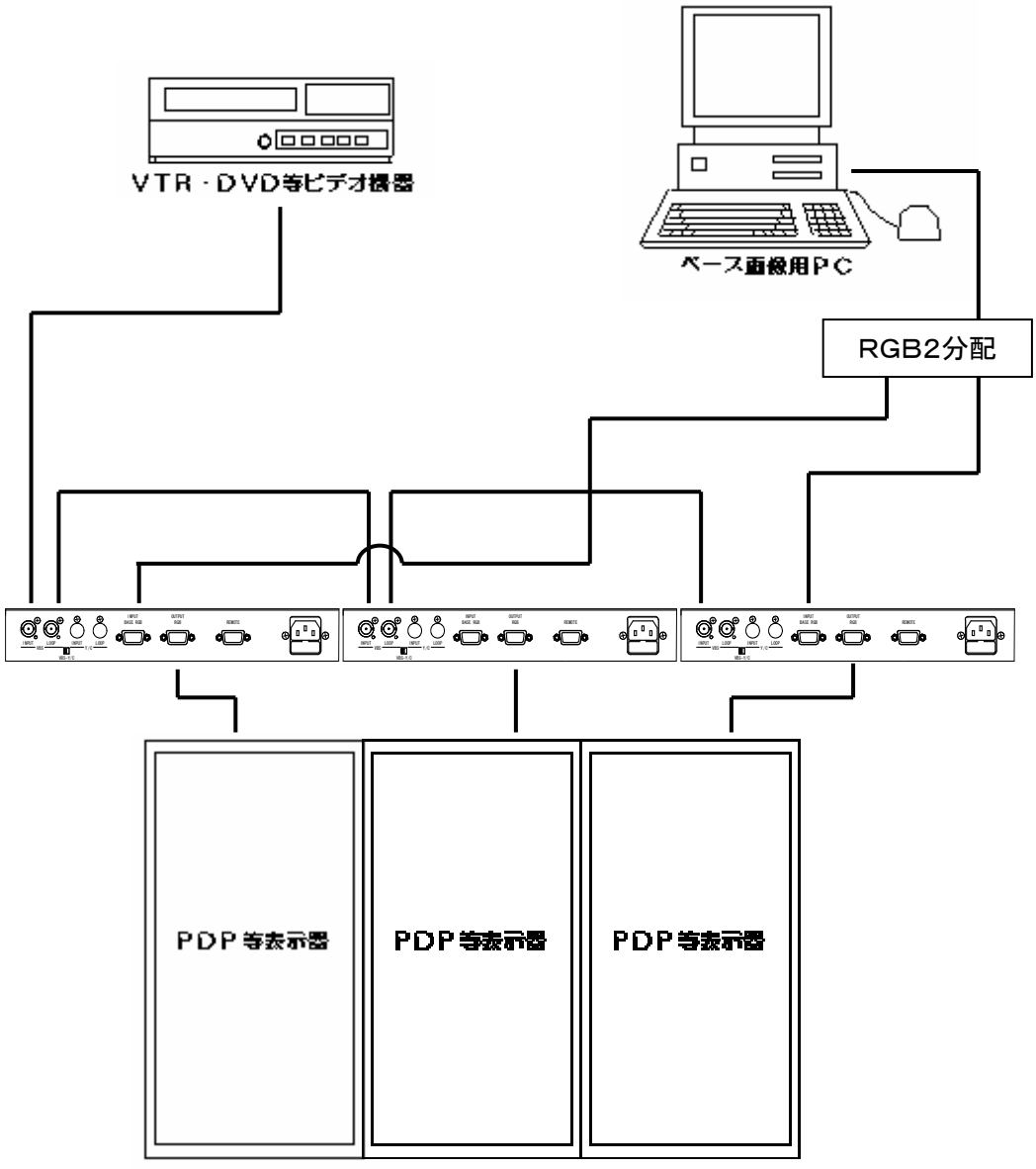
・接　点　制　御：D－sub９ピンケーブルで接続します。
５番ピン（ＧＮＤ）と９番ピン（ＶＩＤＥＯ　ＯＦＦ）を短絡すると、
ビデオ映像表示がＯＦＦとなります。

※コネクタのピンアサインについては、６．外部制御の項目をご参照ください。
※ＲＳ－２３２Ｃと接点制御を同時に使用することはできません。
※外部制御しない場合は、接続の必要はありません。

接続例



# ＰＤＰ３面使用時の接続例




ビデオ機器からの信号（ＶＢＳまたはＹ／Ｃ）はループスルーを使用し、次段のＲ－９０の入力に接続することができます。

# 5．MODE設定と表示例

## ・MODE設定

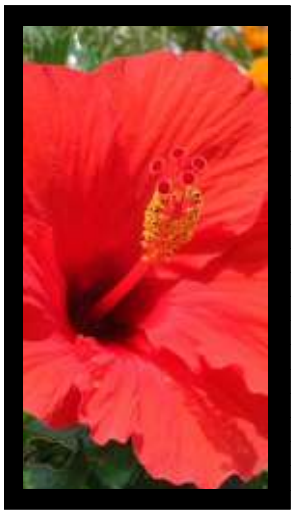
Ｒ－９０ＣＫには、次のようなＭＯＤＥがあります。

| MODE<br>設定値 | 名称 | 切り出しサイズ | 表示サイズ | ベース<br>合成機能 | ビデオ映像<br>回転角度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 0 | ４：３（A） | ２６４×４７０ | ７６８×１０２４ | なし | ９０° |
| 1 | | | | | ２７０° |
| 2 | ４：３（B） | ２５３×４５０ | ７６８×１０２４ | なし | ９０° |
| 3 | | | | | ２７０° |
| 4 | ＦＵＬＬ | ２０４×４５０ | ７６８×１０２４ | なし | ９０° |
| 5 | | | | | ２７０° |
| 6 | ＺＯＯＭ | ２０４×３６２ | ７６８×１０２４ | なし | ９０° |
| 7 | | | | | ２７０° |
| 8 | ＬＥＦＴ<br>オーバーレイ | １２６×４５０ | ３８４×１０２４ | あり | ９０° |
| 9 | | | | | ２７０° |
| A | ＲＩＧＨＴ<br>オーバーレイ | １２６×４５０ | ３８４×１０２４ | あり | ９０° |
| B | | | | | ２７０° |
| C | ３：４<br>レターボックス | ３３８×４５０ | ７６８×７６８ | あり | ９０° |
| D | | | | | ２７０° |
| E | ４：５<br>レターボックス | ３６０×４５０ | ７６８×７２０ | あり | ９０° |
| F | | | | | ２７０° |

**・表示例**

１．４：３（Ａ）　［MODE 設定　０ または １］

・入力画面（６４０×４８０）のうち、２６４×４７０を切り出して表示します。
・９：１６の縦置きＰＤＰに表示したときに、原画像のアスペクト比を損ねることなく表示できます。



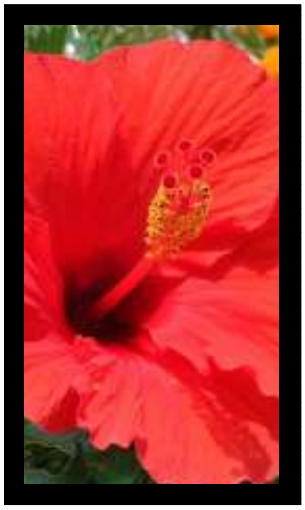
・縦型ＰＤＰを１面使用する場合、入力画面の一部を切り出して表示します。

・ＰＤＰ３面と、３台のＲ－９０を使用すると、入力画面の全体を表示することができます。
（ただし、原画のアスペクト比（４：３）を保持しますので、左右に黒味が出ます）

・ＰＤＰ２面と、２台のＲ－９０を使用すると、入力画像を画面いっぱいに表示することができます。
（アスペクト比の関係で、左右は少しトリミングされます）

## ２．４：３（Ｂ）　［MODE 設定　２ または ３］

・入力画面（６４０×４８０）のうち、２５３×４５０を切り出して表示します。
・９：１６の縦置きＰＤＰに表示したときに、原画像のアスペクト比を損ねることなく表示できます。
・４：３（Ａ）にくらべ少しオーバースキャンになります。



・縦型ＰＤＰを１面使用する場合、入力画面の一部を切り出して表示します。

・ＰＤＰ３面と、３台のＲ－９０を使用すると、入力画面の全体を表示することができます。
（４：３（Ａ）にくらべ左右の黒味は少し小さくなります）

・ＰＤＰ２面と、２台のＲ－９０を使用すると、入力画像を画面いっぱいに表示することができます。
（４：３（Ａ）にくらべ左右のトリミング量は大きくなります）

## ３．ＦＵＬＬ　［MODE 設定　４ または ５］

・入力画面（６４０×４８０）のうち、２０４×４５０を切り出して表示します。
・９：１６の縦置きＰＤＰに表示したときに、左右に引き延ばされて表示されます。

・縦型ＰＤＰを１面使用する場合、入力画面の一部を切り出して表示します。

・ＰＤＰ３面と、３台のＲ－９０を使用すると、入力画面の全体を表示することができます。
・左右に引き延ばされますので、スクイーズサイズの素材を表示するのに最適です

## ４．ＺＯＯＭ　［MODE 設定　６ または ７］

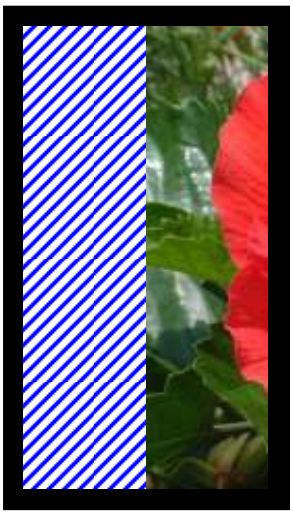
・入力画面（６４０×４８０）のうち、２０４×３６２を切り出して表示します。
・９：１６の縦置きＰＤＰに表示したときに、原画像のアスペクト比を損ねることなく表示できます。

・縦型ＰＤＰを１面使用する場合、入力画面の一部を切り出して表示します。

・ＰＤＰ３面と、３台のＲ－９０を使用すると、入力画面の全体を表示することができます。
・上下がトリミングされますので、レターボックスサイズの素材を表示するのに最適です。

## ５．ＬＥＦＴ オーバーレイ　［MODE 設定　８　または　９］

・入力画面（６４０×４８０）のうち、１２６×４５０を切り出して表示します。
・４：３（Ｂ）のモードで３面表示したとき、左側のＰＤＰに黒味がでますので、
　この部分にベースＲＧＢ信号をオーバーレイするモードです。



・画面の左半分（斜線部）にベースＲＧＢがオーバーレイされます。

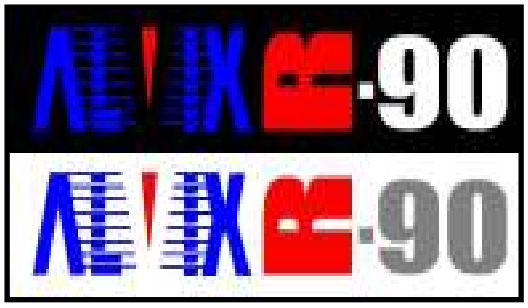
## ６．ＲＩＧＨＴ オーバーレイ　［MODE 設定　Ａ　または　Ｂ］

・入力画面（６４０×４８０）のうち、１２６×４５０を切り出して表示します。
・４：３（Ｂ）のモードで３面表示したとき、右側のＰＤＰに黒味がでますので、
　この部分にベースＲＧＢ信号をオーバーレイするモードです。

・画面の右半分（斜線部）にベースＲＧＢがオーバーレイされます。

※ＢＡＳＥにオーバーレイした表示例

・左画面をＬＥＦＴ オーバーレイ、中央を４：３（B)、右をＲＩGHＴ オーバーレイで使用します。
・ＢＡＳＥとなる画像は、ＸGA（６０Ｈｚ）タイミングで、ＰＣから入力します。



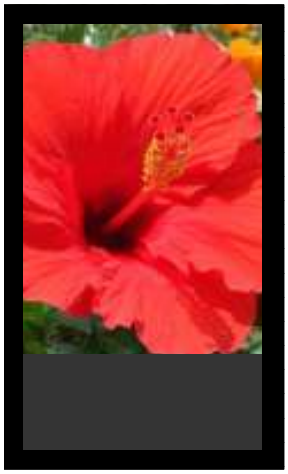
・ＰＣで作成したＢＡＳＥ画像を、横置き１６：９のＰＤＰに表示した時のイメージです。

・３台のＲ－９０を使用して、ＢＡＳＥ信号を合成したときのイメージです。
・４：３のビデオ画像の左右に、１台のＰＣからのＢＡＳＥ画像が分割表示されます。
・このときに必要な機材は、次の通りです。

| | |
|---|---|
| Ｒ－９０ＣＫ | ：３台 |
| ＰＤＰ | ：３台 |
| ＮＴＳＣ信号源 | ：１台（ＤＶＤ等） |
| ＢＡＳＥ信号源 | ：１台（ＰＣ等） |
| ＮＴＳＣ　３分配機 | ：１台（Ｙ／Ｃ or ＶＢＳ） |
| RGB 2分配機 | :1台 |

## ７．３：４レターボックス　［MODE 設定　C　または　D］

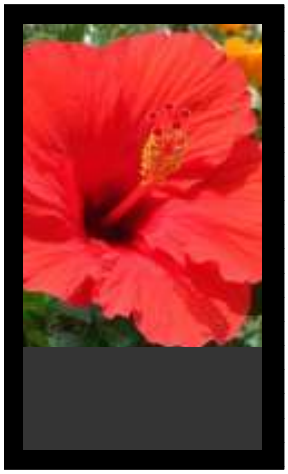
・入力画面（６４０×４８０）のうち、３３８×４５０を切り出して表示します。



・縦型ＰＤＰの３：４のエリアに変換画像を表示します。
・上部または下部に黒味が出ます。
・ベースＲＧＢを入力すると、黒味の部分にベースＲＧＢの画像が表示されます。

## ８．４：５レターボックス　［MODE 設定　C　または　D］

・入力画面（６４０×４８０）のうち、３６０×４５０を切り出して表示します。



・縦型ＰＤＰの４：５のエリアに変換画像を表示します。
・上部または下部に黒味が出ます。
・ベースＲＧＢを入力すると、黒味の部分にベースＲＧＢの画像が表示されます。

# 6．設定方法

## 1．ＢＡＳＥ　ＲＧＢを使用しない場合

1）ＭＯＤＥ　ＳＷの設定

表示器の回転角、切り出しサイズから、ＭＯＤＥを選択し、設定します。
ＢＡＳＥ　ＲＧＢを使用しない場合は、０～７、Ｃ～Ｆの中から設定値を選びます。

2）表示器等の調整

次の手順でＲ－９０からブルーバックを出力しＰＤＰ等の画面位置、サイズ調整を行います。
①MODE スイッチ設定が正しいことを確認します。
②Ｒ－９０の電源をＯＮします。この時、ビデオ入力に信号が無い場合(SyncLoss)、ブルーバックを出力します。もし、変換画像が出力されたら、ビデオ入力を断つか、リアパネルの VBS-Y/C 選択ＳＷをビデオ信号入力が無い方に操作します。
③ブルーバックをＰＤＰに表示した状態で、ＰＤＰの設定方法に基づきＰＤＰの画面位置、サイズの調整を行います。

3）切り出し位置の調整

ビデオ信号を入力し、変換画像を表示させます。
ＰＯＳＩＴＩＯＮ　ＳＷで、切り出し位置・表示位置を設定して下さい。
※ＰＯＳＩＴＩＯＮ　ＳＷの設定が全て”８”のときに、中央が切り出されます。
※設定限界を越えている場合、ＳＷの設定値を変更しても切り出し位置が変わらない場合があります。

## ２．ＢＡＳＥ　ＲＧＢに変換画像を合成する場合

１）ＭＯＤＥ　ＳＷの設定

表示器の回転角、切り出しサイズから、ＭＯＤＥを選択し、設定します。
ＢＡＳＥ　ＲＧＢに変換画像を合成する場合は、８～Ｆの中から設定値を選びます。

２）表示器等の調整

次の手順でＲ－９０経由でＢＡＳＥ　ＲＧＢ信号のみを出力しＰＤＰ等の画面位置、サイズ調整を行います。
①MODE スイッチ設定が正しいことを確認します。
②ＢＡＳＥ　ＲＧＢ信号を接続します。入力する信号は、表示ライン数７６８ライン、リフレッシュレート６０Ｈｚに設定して下さい。
③Ｒ－９０の電源をＯＮします。この時、ビデオ入力に信号が無い場合（SyncLoss）、ＢＡＳＥ　ＲＧＢ信号のみを出力します。もし、変換画像が出力されたら、ビデオ入力を断つか、リアパネルの VBS-Y/C 選択ＳＷをビデオ信号入力が無い方に操作します。
④ＢＡＳＥ　ＲＧＢの画像をＰＤＰに表示した状態で、ＰＤＰの設定方法に基づきＰＤＰの画面位置、サイズの調整を行います。

３）切り出し位置の調整

ビデオ信号を入力し、変換画像を表示させます。
ＰＯＳＩＴＩＯＮ　ＳＷで、切り出し位置・表示位置を設定して下さい。
※ＰＯＳＩＴＩＯＮ　ＳＷの設定が全て”８”のときに、中央が切り出されます。
※設定限界を越えている場合、ＳＷの設定値を変更しても切り出し位置が変わらない場合があります。

４）ビデオ画像とＢＡＳＥ　ＲＧＢ画像の位相調整

ＢＡＳＥ　ＲＧＢ信号とビデオ画像の位相関係を合わせる場合は、
PHASE for BASE RGB スイッチを操作して下さい。

## ３．３面の縦置きＰＤＰを使用したマルチビジョンを構築する場合

１）ＭＯＤＥ　ＳＷの設定

表示器の回転角、切り出しサイズから、ＭＯＤＥを選択し、設定します。
この場合は、０～Ｂの中から設定値を選びます。

２）表示器等の調整

１．２．と同様にＰＤＰ等の画面位置、サイズ調整を行います。
調整は、全てのＰＤＰに対して行う必要があります。

３）中央の切り出し位置の調整

ビデオ信号を入力し、変換画像を表示させます。
中央のＰＤＰに接続されたＲ－９０のＰＯＳＩＴＩＯＮ　ＳＷは全て”８”に
設定します。この時にビデオ入力の中央部が切り出されています。

３）左右の切り出し位置の調整

ビデオ信号を入力し、変換画像を表示させます。
中央のＰＤＰの画像とうまく画像がつながるように、ＰＯＳＩＴＩＯＮ　ＳＷで、
切り出し位置を設定して下さい。
垂直方向の切り出し位置は、Ｖスイッチで設定できますが、３台のＲ－９０は
同じ値に設定して下さい。

# 7．ＳｙｎｃＬｏｓｓ及びビデオＯＦＦ動作

ＳｙｎｃＬｏｓｓ時または、外部制御でビデオ映像をＯＦＦした場合の動作は、ＭＯＤＥによって、次のようになります。

| MODE 設定値 | 名称 | 表示される画像 | |
|---|---|---|---|
| | | BASE RGB／外部同期信号 | |
| | | なし | あり |
| 0 | ４：３（A） | 全面ブルーバック | 全面ブルーバック |
| 1 | | | |
| 2 | ４：３（B） | 全面ブルーバック | 全面ブルーバック |
| 3 | | | |
| 4 | ＦＵＬＬ | 全面ブルーバック | 全面ブルーバック |
| 5 | | | |
| 6 | ＺＯＯＭ | 全面ブルーバック | 全面ブルーバック |
| 7 | | | |
| 8 | ＬＥＦＴ オーバーレイ | 全面ブルーバック | BASE RGB 画像 |
| 9 | | | |
| A | ＲＩＧＨＴ オーバーレイ | 全面ブルーバック | BASE RGB 画像 |
| B | | | |
| C | ３：４ レターボックス | 全面ブルーバック | BASE RGB 画像 |
| D | | | |
| E | ４：５ レターボックス | 全面ブルーバック | BASE RGB 画像 |
| F | | | |

# 8．外部制御

1．外部制御仕様

・ＲＳ－２３２Ｃ

| | | |
|---|---|---|
| 通信速度 | ： | ９６００ｂｐｓ |
| スタートビット | ： | １ｂｉｔ |
| データ長 | ： | ８ｂｉｔ |
| パリティ | ： | ｎｏｎｅ |
| ストップビット | ： | １ｂｉｔ |

・外部接点　　：　接点ON（GNDレベル）で、ビデオ映像ＯＦＦ

※ＲＳ－２３２Ｃと外部接点は同時に使用できません。

2．コネクタピンアサイン（コネクタ留めネジはインチピッチ）

| | | |
|---|---|---|
| 1 | ＬＯＯＰ１ | 注1 |
| 2 | ＴＸＤ（ＲＳ－２３２Ｃ） | |
| 3 | ＲＸＤ（ＲＳ－２３２Ｃ） | |
| 4 | ＬＯＯＰ１ | 注1 |
| 5 | ＧＮＤ | |
| 6 | ＬＯＯＰ１ | 注1 |
| 7 | ＬＯＯＰ２ | 注1 |
| 8 | ＬＯＯＰ２ | 注1 |
| 9 | 外部接点（ＶＩＤＥＯ　ＯＦＦ） | １ｋΩプルアップ　注2 |

注１：ＬＯＯＰ１、ＬＯＯＰ２は内部でそれぞれ短絡されています。
注２：ＶＩＤＥＯ　ＯＦＦ（9番）とGND（5番）を短絡すると、ビデオ映像がＯＦＦされます。

3．ＲＳ－２３２Ｃ外部制御について

1）ＲＳ－２３２Ｃ外部制御の開始

物理的な接続・設定が終了し、**ＲＳ－２３２Ｃでの制御に移行した場合は、ＭＯＤＥ、ＰＯＳＩＴＩＯＮ　Ｈ、ＰＯＳＩＴＩＯＮ　Ｖ、ＶＢＳ-Ｙ／Ｃの設定値は、本体ＳＷの設定に関係なくデフォルト値となります。**
よって、デフォルト値以外で使用の際は、通信開始後に初期化（ＭＯＤＥ、ＰＯＳＩＴＩＯＮ　Ｈ、ＰＯＳＩＴＩＯＮ　Ｖ、ＶＢＳ-Ｙ／Ｃの値を設定）してください。

2）ＲＳ－２３２Ｃ外部制御の終了

**ＲＳ－２３２Ｃでの制御を終了すると、制御中に設定した値は失われ、本体ＳＷの設定が有効となります。**

3）ＲＳ－２３２Ｃコマンド一覧表

| 機能 | コマンド | 内容 |
|---|---|---|
| 通信開始 | ENQ<br>05h | ＲＳ－２３２Ｃによる通信を開始 |
| 通信終了 | EOT<br>04h | ＲＳ－２３２Ｃによる制御終了 |
| ビデオ入力選択 | Ｓ　Ｉ<br>53h 49h | ビデオ入力のＶＢＳ－Ｙ／Ｃ設定 |
| ビデオ画像ＯＮ／ＯＦＦ | Ｓ　Ｇ<br>53h 47h | ビデオ映像の表示ＯＮ／ＯＦＦ設定 |
| ベース画像ＯＮ／ＯＦＦ | Ｓ　Ｃ<br>53h 43h | ベース画像の表示ＯＮ／ＯＦＦ設定 |
| 応答ＯＮ／ＯＦＦ | Ｓ　Ａ<br>53h 41h | コマンド受信後の ACK(06h)/NAK(15h)応答のＯＮ／ＯＦＦを設定 |

4）ＲＳ－２３２Ｃコマンド書式

〈STX〉 Command %1 〈ETX〉
02h コマンド 設定値 03h

※但し、通信開始・終了コマンドを除く

## 4．ＲＳ－２３２C通信コマンド詳細

### １）　ＲＳ－２３２C制御開始【ＥＮＱ】

□ 機 能 □　　ＲＳ－２３２C制御を開始します。

□ 書 式 □　　〈ENQ〉
05h

□ 説 明 □　　制御開始時には、次の本体ＳＷの設定値と操作が無効になります。
・ＭＯＤＥ　ＳＷ
・ＰＯＳＩＴＩＯＮ　Ｈ　ＳＷ
・ＰＯＳＩＴＩＯＮ　Ｖ　ＳＷ
・ＶＢＳ－Ｙ／Ｃ

### ２）　ＲＳ－２３２C制御の終了【ＥＯＴ】

□ 機 能 □　　ＲＳ－２３２C制御を終了します。

□ 書 式 □　　〈EOT〉
04h

□ 説 明 □　　制御を終了すると、次の本体ＳＷの設定値と操作が有効になります。
・ＭＯＤＥ　ＳＷ
・ＰＯＳＩＴＩＯＮ　Ｈ　ＳＷ
・ＰＯＳＩＴＩＯＮ　Ｖ　ＳＷ
・ＶＢＳ－Ｙ／Ｃ

### ３）　ビデオ入力選択　【コマンドＳＩ】

□ 機 能 □　　ビデオ入力（ＶＢＳ－Ｙ／Ｃ）を設定します。

□ 書 式 □

| 〈STX〉 | Ｓ | Ｉ | %1 | 〈ETX〉 |
|---|---|---|---|---|
| 02h | 53h | 49h | 設定値 | 03h |

□　例　□　　ビデオ入力をＶＢＳに設定する。

| 〈STX〉 | Ｓ | Ｉ | 0 | 〈ETX〉 |
|---|---|---|---|---|
| 02h | 53h | 49h | 30h | 03h |

□ 説 明 □　　デフォルト値は１です。
０　：　ＶＢＳ入力
１　：　Ｙ／Ｃ入力

## 4） ビデオ映像ON／OFF 【コマンドSG】

□ 機 能 □　ビデオ映像の表示ON／OFFを設定します。

□ 書 式 □

| 〈STX〉 | S | G | %1 | 〈ETX〉 |
|---|---|---|---|---|
| 02h | 53h | 47h | 設定値 | 03h |

□ 例 □　ビデオ映像の表示をOFFに設定する。

| 〈STX〉 | S | G | 0 | 〈ETX〉 |
|---|---|---|---|---|
| 02h | 53h | 47h | 30h | 03h |

□ 説 明 □

デフォルト値は1です。
0 ： ビデオ映像OFF
1 ： ビデオ映像ON

【補足】

ビデオ映像、ベース画像が共に入力されていない場合は設定に関係なく〔ブルー（ビデオ映像領域）＋背景色（ベース画像領域)〕が表示されます。
ベース画像入力が有り、ビデオ映像が無い場合には、ONに設定しても〔ベース画像〕のみが表示されます。

## 5） ベース画像ON／OFF 【コマンドSC】

□ 機 能 □　ベース画像の表示ON／OFFを設定します。

□ 書 式 □

| 〈STX〉 | S | C | %1 | 〈ETX〉 |
|---|---|---|---|---|
| 02h | 53h | 43h | 設定値 | 03h |

□ 例 □　ベース画像の表示をOFFに設定する。

| 〈STX〉 | S | C | 0 | 〈ETX〉 |
|---|---|---|---|---|
| 02h | 53h | 43h | 30h | 03h |

□ 説 明 □

デフォルト値は1です。
0 ： ベース画像OFF
1 ： ベース画像ON

※ベース画像が入力されていない場合は、ONに設定しても背景色が表示されます。

## １１）　応答ＯＮ／ＯＦＦ　【コマンドＳＡ】

□ 機 能 □　　コマンド受信後のＡＣＫ（０６ｈ）／ＮＡＫ（１５ｈ）応答を「する」または「しない」を設定します。

□ 書 式 □

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ‹STX› | S | A | %1 | ‹ETX› |
| 02h | 53h | 41h | 設定値 | 03h |

□ 例　□　　ＡＣＫ／ＮＡＫを応答するように設定する。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ‹STX› | S | A | 1 | ‹ETX› |
| 02h | 53h | 41h | 31h | 03h |

□ 説 明 □　　デフォルトは0です。
０　：　ＯＦＦ
１　：　ＯＮ

# お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

ＴＥＬ
担　当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒９５９－０２１４
新潟県燕市吉田法花堂１９７４－１
ＴＥＬ：０２５６－９３－５０３５
ＦＡＸ：０２５６－９３－５０３８